

中津警察署協議会

第2回会議の開催状況

第1 開催月日

令和6年9月17日（火）

第2 出席者

協議会 委員 7名
警察署 署長、副署長、刑事官、総務課長、会計課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長 11名

第3 議事の概要

- 1 業務説明等
警察署から
・管内概況及び重点施策
について説明がなされた。
- 2 諮問事項の説明
警察署から
・諮問事項「高齢者の交通事故防止対策」
の取組状況について説明がなされた。
- 3 委員からの意見等
 - (1) 自転車盗の発生状況について
委員から、管内の自転車盗の発生状況について質問がなされ、警察署から、
 - ア 場所を絞ったピンポイントの対策で抑止することが難しいため、駐輪場対策と並行し、自転車に乗っている方々への声かけや学校、事業所に対する啓発活動等、総合的な対策を講じている
 - イ 被害に遭う自転車は、無施錠自転車が大部分を占めている
 - ウ 被害者の年齢別では10代が多数となっているので、学生が多いと思われる旨の説明がなされた。
 - (2) 「高齢者に対する『キラッと輝け』安全横断プロジェクト」について
委員から、中津警察署交通課が推進中の「高齢者に対する『キラッと輝け』安全横断プロジェクト（民生委員等を通じた反射材の配布・普及活動）」について「反射材は警察署が民生委員に配布したものか」旨の質問がなされ、警察署から、
 - ア 当署交通課が、高齢歩行者の事故防止対策として配布したものである
 - イ 襷型の反射材は、外出時に着け忘れる可能性があるが、靴に貼るタイプの反射材は一度貼れば剥がすことは多くないと考えられ、また、自動車のライトは下の方向を照らすため、靴に貼るタイプが効果的と考えられたことから、実質的な効果が高いと判断し、配布活動を行うこととした旨の説明がなされた。
 - (3) 飲酒運転の検挙状況について
委員から、管内の飲酒運転の状況について質問がなされ、警察署から、
 - ア 8月に入ってから、飲酒運転の検挙や飲酒事故が増加している
 - イ 増加に至る原因は分析中であるが、歓楽街周辺での検挙は多くなく、自宅で飲酒した後に運転したケースなど、飲酒の時間帯も場所もバラバラとなっている。今後、不審車両等への積極的な職務質問や午前中に検問を行うなどの各種対策を検討中である旨の説明がなされた。

(4) SNS型投資・ロマンス詐欺の発生状況

委員から、SNS型投資・ロマンス詐欺の発生状況について質問がなされ、警察署から、

ア 携帯電話で見かける広告やSNSでの勧誘に乗って相手と交信を始め、その人と信頼関係が醸成されていく過程で投資や資金援助などを持ちかけられ、被害に遭っているケースが多い

イ 銀行口座に現金を振り込ませるのではなく、暗号資産を購入させるケースなども増えている

旨の説明がなされた。

更に、委員から「携帯電話の表示に「+表示」の電話が架かってくるが、これは外国経由の電話なので、そのことをもっと周知した方が良いと思う」旨の意見がなされた。

(5) 道路標示について

委員から「中津駅北口の交差点の道路標示が非常に分かりやすい標示であるため、交通事故防止の観点からも他の交差点などに応用すべきではないか」との意見がなされ、警察署から「ご指摘の道路標示は法定外の標示であり、道路管理者の管轄となる。いただいた意見については、現地を確認した上で、警察署から道路管理者に県民の皆様からの意見として伝達したい」旨の説明がなされた。

(6) 店舗付近の交通状況について

委員から「最近、ある店舗が開店し、その店舗の来客が多く、同所に入出入りする車が交錯して危険である旨の話聞いた。同所の通行方法を改善できないか」旨の意見がなされ、警察署から「現地の状況の確認と交通事故の発生状況などを分析し、対策の必要性を判断して、事業者に入出入り方法等改善の申し入れを行う」旨の説明がなされた。

(7) 万引きの状況について

委員から「本年中、管内で発生した万引き事件について、被疑者の年齢層はどのようになっているか。また、少年による犯行はどれくらいあるか」旨の質問がなされ、警察署から「被疑者の年齢層は幅広く、年齢による特徴的な偏りは見られない。少年による犯行も数件ある」旨の説明がなされた。

更に、委員から「スマートホンの普及により、知識の浅い若者が簡単に危険な情報に触れられるようになってきているので、私たちも警察署の皆さん、学校、PTAと連携して少年の非行防止や被害防止に向けてもっとできることがあるのではないかと考えている」旨の意見がなされた。

(8) 装備品の整備について

委員から「山形県において発生した豪雨災害により、現場対応中の警察官2名が殉職した事案があり、山形県警は災害警備にあたる警察官のライフジャケット購入費を予算化したとの報道があった。今年は宇佐市の駅館川も氾濫した事例もあるので、災害警備にあたる警察官が必要とする装備品などの整備を検討していただきたい」旨の意見がなされた。

(9) ラウンドアバウト交差点について

委員から「宇佐市安心院町にラウンドアバウトの交差点があるが、この方式の導入により、右折車両と直進車両による典型的な交差点事故がほとんどなくなると聞いており、信号機のメンテナンスも必要なく災害にも強いと思うので、中津市内でも導入を検討していただきたい」旨の意見がなされた。

(10) 自転車の盗難対策について

委員から「本日、『愛錠大作戦（鉄道駅駐輪場などにおいて、無施錠の自転車に仮ロックを施し、自転車の所有者に同意を得られたものに対しダイヤル式の本ロックを施して盗難を防ぐ施策）』を体験させてもらったが、警察官がこれを毎日実施するのは非常に負担が大きいと感じられた。自転車の管理は最終的に自己責任であるが、自転車の盗難被害を防ぐために地域ぐるみでどのように意識付けしていくかが大事であると思う」旨の意見がなされた。